

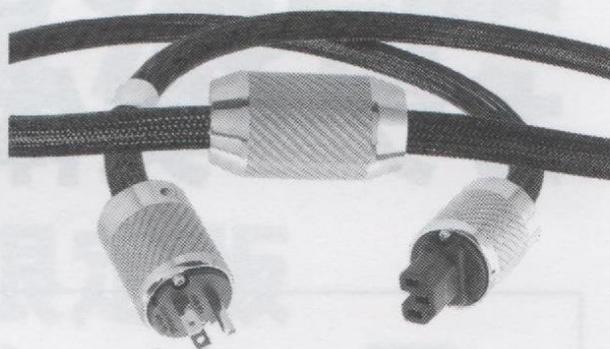


静電気対策素材 NCF を追加したフラッグシップ電源ケーブル

フルテック PowerFlux-NCF-18

¥327,800 (税込)

フラッグシ
ップ電源ケ
ーブルPower-Flux
の後継モデル。
プラグはボデ
ィに独自の静
電気対策素



であるNCFや純銅電極を用いたFI-50M NCF (R), FI-50 NCF (R) を新たに採用. ケーブルには超低温処理 & 特殊電磁界処理 (α Process 処理) を施したOCC導体である α -導体 (68本) を用いたほか, カーボンパウダー調合PVCシースを含む二重シース構造を取り入れる. シールドは α -導体編組, ジャケットにはナイロン編組を採用. 中間部には振動ノイズ対策用のネオダンパーテクノロジーを内包したEMI電磁波吸収材GC-303を装着している.

フルテック PowerFlux- NCF-18

α -OCC 導体採用
電源ケーブル

税込価格 ¥327,800 1.8m

導体： $\phi 0.127\text{mm} \times 7 \times 68$ 束 $\times 3$ 芯
外径：約 $\phi 17.5\text{mm}$

合。従来のセラミックパウダーおよびカーボンパウダーによる制振効果に加えて、帯電による静電気除去効果を高めている。

ブレードは純銅製でロジウムメッキを施し、独自の超低温処理と特殊磁気処理を行う α プロセス処理がされている。

今回は、ケーブルのほぼ中間位置にプラグと同材の振動低減も兼ねたノイズフィルターを設置したことも注目点である。電磁ノイズ対策としては電波吸収材 GC-303 を装着し、振動対策としては内部にネオダンパーテクノロジーを採用している。

試聴では、本誌常用のCDプレーヤーとプリアンプ間に Lineflux NCF ラインケーブルを使用し、プリアンプに本製品を接続した。大きく変化したことは、音場と音像が拡大され、音数が多く、ハイスピードかつ高解像度な音が眼前に展開したことである。個人的には前モデルを使用しているが、その差は大きく、スケール感に溢れリアリティに富んだ演奏が堪能できる。聴感上、電源がクリーンになった印象も受け、特に弱音と倍音の再現性が高まり、ダイナミックレンジが拡張された思いがする。

本製品はこのように、伝送特性をとことん究めたと言えるほどハイグレードな仕様である。ハイエンドオーディオを追求する愛好家にとって、その候補となることであろう。なお両端のプラグ FI-50M NCF (R) と FI-50 NCF (R) は以前より単売されている。

(角田郁雄)



ACプラグはFI-50M NCF (R)、インレットプラグはFI-50 NCF (R) を使用。中央に電波吸収材を入れたダンピング材を取り付けている

34ページで紹介のフルテックRCAラインケーブル Lineflux NCFに加えて、フラグシップパワーケーブルであるPowerFlux-NCF-18 (1.8m) も同時発売された。導体は α -OCC導体(撚線構成、 $\phi 2.8\text{mm}$ 、特殊PE外皮)で、アースを含む3芯構成。その上をカーボンパウダー配合の柔軟性PVCで覆う二重シース構成。さらにその上を α -OCC網組シールドで覆い、外皮にPVCを使用し、外装仕上げとしてナイロン網組チューブで覆っている。この多層構造により、外来ノイズと振動を大幅に低減させ、ハイスピードでリアルな音を実現していることが特徴。

そして今回は、両端プラグの絶縁部に静電気と振動を低減するNCFを採用したことが大きな注目点である。そのハウジングはステンレス合金製(内部は特殊樹脂)で、その外周をシルバーカーボンファイバーで覆い、強固かつ高品位な仕上げとした。また、ケーブルを固定する特殊金属クランパーやハウジングとアースを接続するアースジャンパーも採用している。プラグ電極部(ブレード)が付く絶縁部にはNCFを配